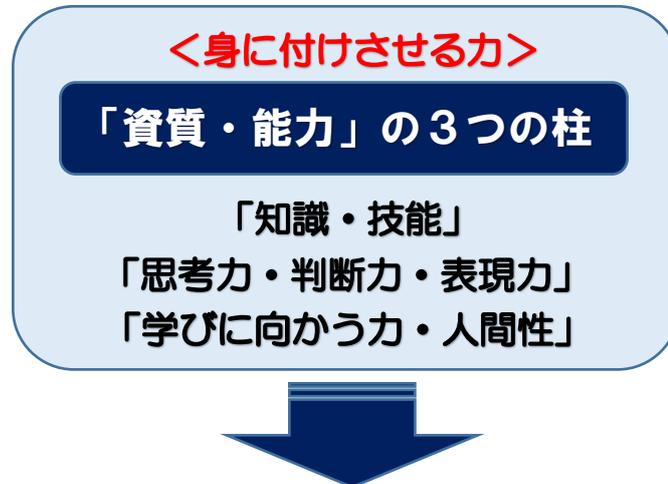


砂川市小学校「学習スタンダード」

## 1 はじめに

学習指導要領で示されている「3つの柱」



砂川市小中一貫教育「全体構造図」による目指す児童像

**目指す児童生徒像【確かな学力】**

よりよく考え、自ら進んで学習に取り組む児童生徒

## 2 学びの姿勢

(1) 学習のきまり

### <授業前>

- ① 次の時間の準備をします。～教科書、ノート、筆記用具～机上整理→(2)
- ② 忘れ物をしたときは、休み時間のうちに先生に報告します。
- ③ チャイムが鳴り終わるまでに席に着きます。

**<授業中>★正しい姿勢で座ります。**

### 【聞く】

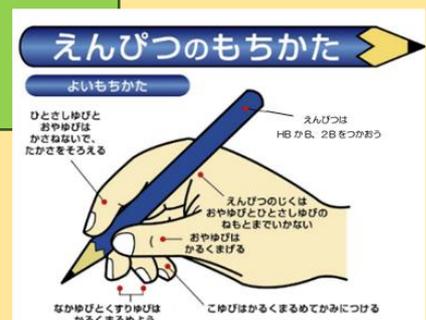
- ① 話す人を見ながら最後まで聞きます。
- ② 自分の考えと比べながら聞きます。
- ③ 聞き終わったら返事をします。  
(同じです。いいです。他にあります。など)

### 【発表する】

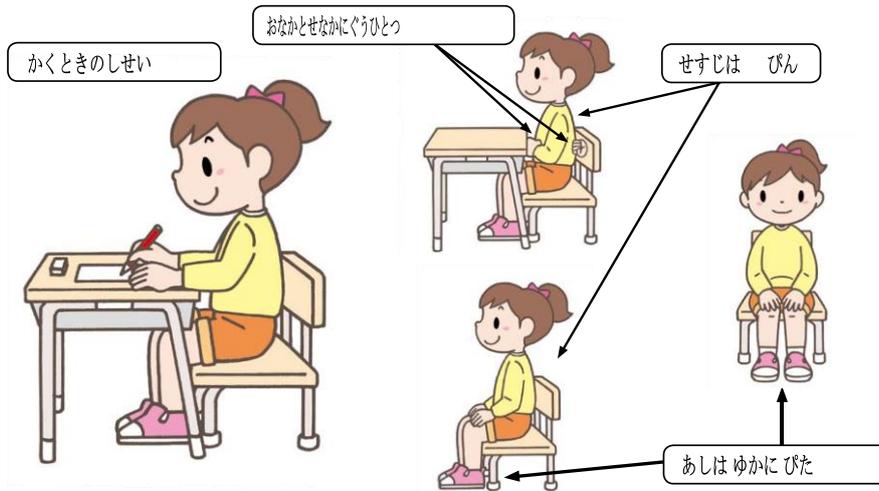
- ① 名前を呼ばれたら相手に聞こえるように返事をします。
- ② みんなに聞こえる声の大きさを語尾まではっきり話します。
- ③ 順序よく、整理して伝えます。

### 【書く】 ※「課題」は青、「まとめ」は赤

- ① 正しい姿勢で書きます。
- ② 正しい鉛筆の持ち方で書きます。
- ③ ていねいに字を書きます。

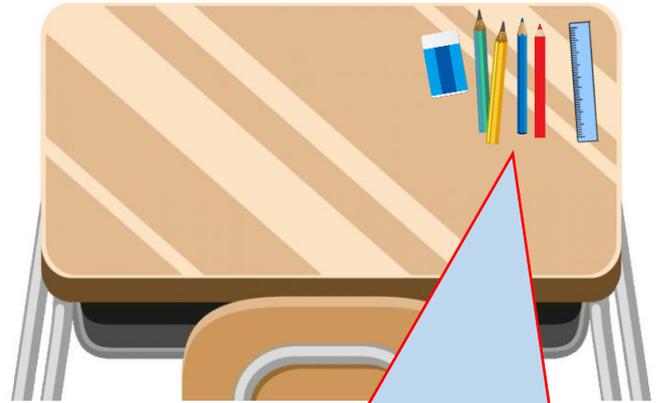
**<授業後>★次の授業の準備をしてから、休み時間に入ります。**

# しせいの ものさし ぐう・ぴた・ぴん



## (2) 机上の整理

鉛筆	1年 2B 2年 2BまたはB 3年～BまたはHB
色鉛筆 (青・赤)	1・2年は色鉛筆 3年～ ボールペン可
消しゴム	四角いもの
15cm定規	1年生から使用 折りたたみ式不可



## (3) 筆入れに入れる物

- ①鉛筆5本程度
- ②色鉛筆（ボールペン）
- ③消しゴム
- ④定規（15cm）
- ⑤油性ネームペン（2年生以上）

机の上には、学習に集中できるように余計な物は置かない。

基本的には、【鉛筆・消しゴム・色鉛筆またはボールペン（青と赤）・定規】とし、柄はシンプルなもの。端から定規・鉛筆・消しゴムの順（またはその逆）に置くと鉛筆を落とすことが少なくなる。「置く順序」や「縦向き・横向き」「位置」などは、状況に応じて対応する。

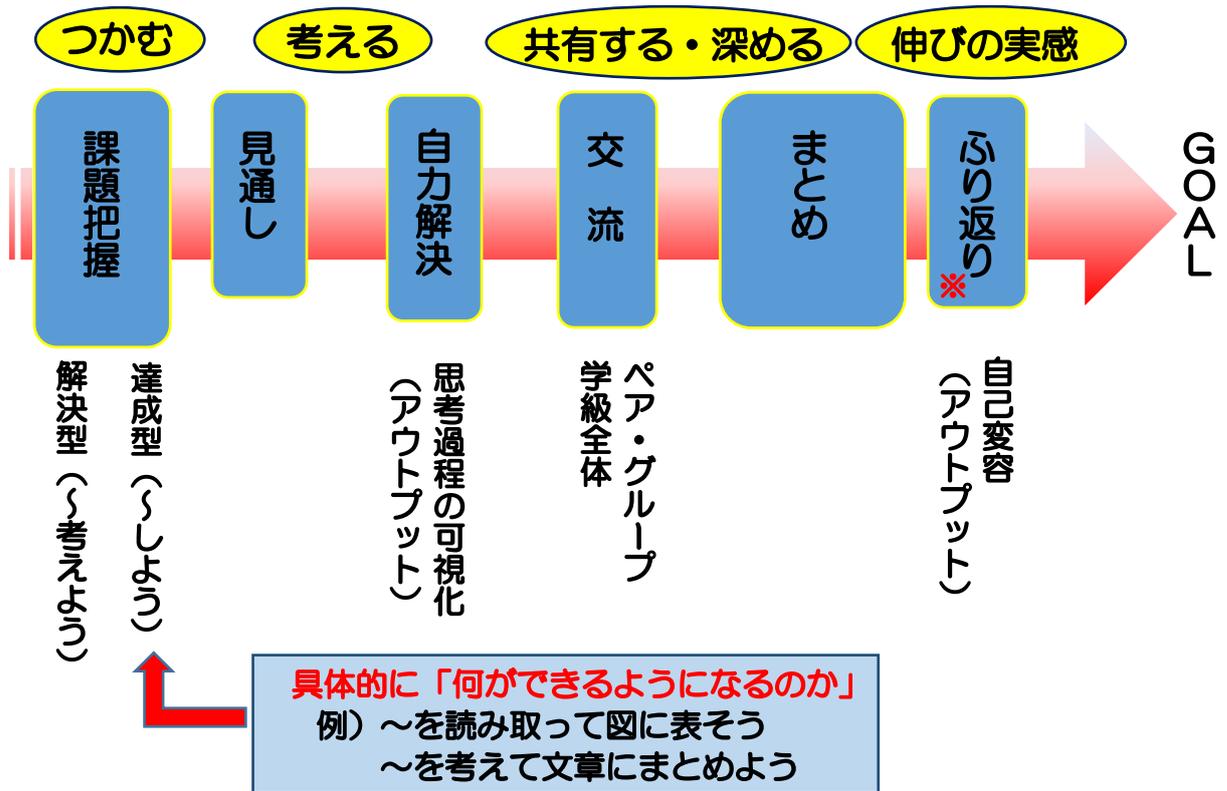
## (4) 学習用ノート

学校では、ていねいな文字で学習内容をまとめるノート指導を充実させ、学力の定着を図るため、それぞれの教科で使用するノートを下表のとおりそろえます。

教科	1年生	2年生	3年生	4・5・6年生
国語	8マス 十字リーダー入	15マス 十字リーダー入	18マス 十字リーダー入	5ミリ方眼 十字リーダー入
算数	7マス 十字リーダー入	14マス 十字リーダー入	5ミリ方眼 十字リーダー入	
社会			5ミリ方眼 十字リーダー入	
理科			5ミリ方眼 十字リーダー入	
その他	【必要に応じて】連絡帳・自由帳		5ミリ方眼 十字リーダー入	

### 3 授業の流れ

(1) 1 単位時間の授業展開



(2) 振り返り

子供自身に「振り返り」の意義を実感させ、授業を通して「振り返り」の習慣化を図る工夫、次時の授業への期待を高めることや家庭学習などへつなげることが必要です。

【「振り返り」の指導ポイント】

- ◆ 「振り返り」の目的を子供たちに伝えること。
- ◆ 「振り返り」の時間をしっかり確保し、習慣化すること。
- ◆ 「課題」と「振り返り」がつながるように、振り返る視点を児童生徒に示すこと。
- ◆ 「振り返り」につながる板書・ノートを工夫すること。

【振り返りの視点（例）】

習得	・学びの変容を振り返る	「〇〇が分かった。」「〇〇ができるようになった。」 【例】「登場人物の気持ちを読み取るには、その言葉や行動に着目すれば読み取れることが分かった。」
	・学びの過程や結果を振り返る	「〇〇することが分かった。」「〇〇することができるようになった。」 【例】「いくつかの資料を比較して読むことで、江戸時代の農民と武士の生活の様子が分かった。」
	・交流を振り返る	「〇〇な考え方もあるんだ。」「Aさんはなぜ、こう考えたのだろう。」（「問い」） 【例】「最初はAさんの考えに反対だったが、話し合いを通して、Aさんの考えが少し理解できるようになった。しかし、自分は〇〇なので～」 「（サーブは）上から打つ方が絶対いいと思っていたけれど、作戦タイムを通して、いろいろな打ち方を試してみようと思った。」
活用探究	・活用問題に取り組み ・他の単元・教科で活用する ・次につなげる	「〇〇でもできるかやってみよう。」「もっと〇〇について考えたい。」 「もし〇〇だったらどうかな。」（「問い」） 【例】「あさがおの育て方を勉強したので、今度は家でひまわりを育ててみたいと思いました。」 「お礼状の書き方を学んだので、職場体験でお世話になった職場の方にお礼状を書いてみたい。」